◆小泉新内閣発足に対する会頭コメント（2001年4月26日）

派閥にとらわれることなく、これからの国の針路を考えて新内閣を発足された小泉首相には、国民の期待が大きいものと思います。

今後の施策運営につきましては、小泉首相も理想と現実とのギャップなど厳しい場面に直面することもあることでしょうし、総論は賛成であっても、各論については意見が多いという場面も出てくると思いますが、小泉首相の理想とする政治路線を着実に歩んで欲しいと思います。

我々国民も、痛みを伴うことがあっても、しばらくは耐え忍び小泉首相を温かく見守っていきたいものです。

京都商工会議所
会頭　村田純一